問題番号		問い	方程式	2 - 5 = 0 を解きなさい。	
	2	正解	= 5/2		
	誤	答	例	つまずき原因	分析と解消
1	無解	!答		方程式を解く意味を理解していない。	5ページ 【2-1】
2	=	2 5		2 = 5 から の値を求めることができない。	6ページ 【2 - 2】
3	=	- <u>5</u>			3ページ 【1-2】
4	=	5			5ページ 【2-1】
5	=	3		2 = 5 から = 5 - 2 とした。	5ページ 【2-1】

正解の解説

方程式 2 - 5 = 0 の両辺に5を加えると,

$$=\frac{5}{2}$$

練習次の方程式を解きなさい。

(1) 3 - 6 = 0 (2)
$$\frac{1}{3}$$
 + 2 = 0 (3) 5 - 2 = 0

$$(3)$$
 5 - 2 = 0

$$(4)$$
 5 + 2 = 0

解答

$$(1) = 2$$

$$(2) = -6$$

(1) = 2 (2) = -6 (3) =
$$\frac{2}{5}$$
 (4) = - $\frac{2}{5}$

誤答例1のつまずきの分析【2-1】

方程式 2 - 5 = 0 を解くことの意味を理解していないから,無解答であると思われます。「方程式を解く」とはどういうことなのか理解する必要があります。

つまずきの解消

の値によって成り立ったり成り立たなかったりする等式を, についての方程式 という。方程式を成り立たせる の値を,その方程式の解といい,解を求めること を,その方程式を解くという。

1 次方程式を解く手順

文字 をふくむ項はすべて左辺に,数だけの項はすべて右辺に移項する。 両辺を計算して, a = b の形にする。

両辺を の係数でわる。

(a 0)

式を書くときの約束

積の表し方

- (1) 乗法の記号×は省く。 例 a×b=ab, 5×a=5a
- (2) 文字と数の積では,数を文字の前に書く。 例 a x 3 = 3 a
- (3) 文字は,ふつうアルファベットの順に書く。

例 $b \times a = ab$, $a \times c \times b = abc$

(4) 1 x a は a , - 1 x a は - a のように書く。

例 $1 \times b = b$, $-1 \times = -$

(5) 同じ文字の積は,累乗の指数を使って表す。

例 $a \times a = a^2$, $b \times b \times b = b^3$

商の表し方

(6) 除法の記号:を使わないで,分数の形で表す。

$$a \div 4 = \frac{a}{4}$$
 $\sharp \mathcal{L} \mathcal{L}$, $\frac{1}{4} a$

3 とは,3× のことです。これは, + + のことを意味します。

例えば,算数では,2 + 3 = 5 です。ところが,文字式の計算になると,2 + 3 はこれ以上簡単にすることはできません。この式の意味は,2 に3 を加えることと,加えた結果の両方を意味しているのです。

誤答例2のつまずきの分析【2-2】

2=5 から の値を求めることができない。 $=\frac{5}{2}$ か $=\frac{2}{5}$ を迷って , $=\frac{2}{5}$ と解答したと思われます。

つまずきの解消

2 - 5 = 0

両辺に5を加えるか,左辺の-5を右辺へ移項すると,

2 = 5 となります。

a = b から を求めるには,[a 0]両辺を の係数でわる。

2 = 5 この両辺を 2 で割ると , = $\frac{5}{2}$ となります。

等式の性質

1 等式の両辺に同じ数や式を加えても,等式は成り立つ。

2 等式の両辺に同じ数や式をひいても,等式は成り立つ。

3 等式の両辺に同じ数をかけても,等式は成り立つ。

4 等式の両辺を0でない同じ数でわっても,等式は成り立つ。

$$A = B \quad \text{asid} \quad \begin{array}{l} A = B \\ \bar{C} \end{array}$$

解答	等 式 の 性 質
方程式 2 - 5 = 0 の両辺に5を加える	- 等式の性質 2
2 - 5 + 5 = 0 + 5 2 = 5 両辺を2で割ると,	← A = B ならば A - C = B - C
= \frac{5}{2}	等式の性質 4 ← A = B ならば c̄ = c̄